

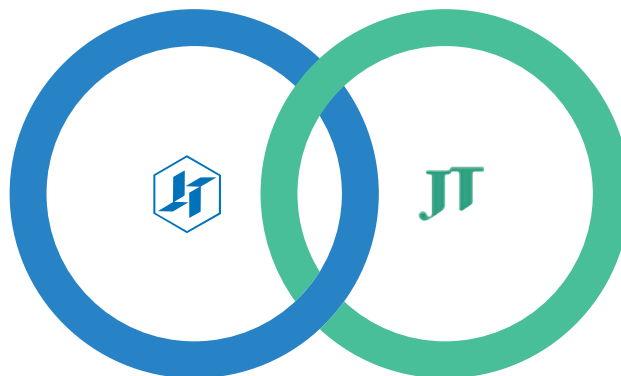
事業内容

JTとの協業体制

他の産業に比べ、研究開発に多くの資源を投入している製薬業界では、新薬開発のために必要な技術はますます高度化しています。また、新薬が承認を得るためのハードルは極めて高く、世の中に出るまでには非常に長い歳月が必要となります。そのような状況の下で、鳥居薬品はこれまでに築き上げた信頼と伝統を尊重しつつ、1999年、新たなビジネスモデルを構築しました。それは、JTグループの一員となり、研究開発機能は日本たばこ産業(株) (以下「JT」) に集中し、製造・販売の各機能は鳥居薬品に統合することで最大限の相乗効果を発揮するというものです。

また、導入活動についても独自の活動に加え、JTと連携することにより、優れた医薬品の導入を進めています。

グループとして相乗効果を発揮することで、さらなる新しい力を生み出していきます。



営業活動

どんなに優れた医薬品でも、適正に使用されなければその効果は発揮されません。MR (医薬情報担当者) は、医薬品を適正に使用していただけるよう、医師や薬剤師をはじめとする医療関係者に医薬品情報を提供し、医薬品の普及に努めています。同時に医療現場からは安全性や有効性に関する情報を収集し、社内の関係者にフィードバックします。これらの活動により、既存製品の新しい情報を得るなどその可能性を広げるほか、次の研究開発へとつながる情報を得ているのです。

鳥居薬品のMRは、一人ひとりが高い倫理観を持ち、医療の一端を担っているという責任の重さを強く自覚しています。病気で苦しむ患者さんだけでなく、全ての人々がより良い健康状態を実感できる社会を目指し、活動を続けています。

製造活動

鳥居薬品は、医薬品製造の全工程を委託しており、製造委託先との協業の中で、製薬企業としての医薬品の品質確保と安定供給の責任を果たすため、日々取り組んでいます。

人々の生命や健康に直接関わる医薬品には、より高度な品質保証と安全管理体制が求められています。

鳥居薬品は、医薬品製造の全工程を通して品質を維持するため、かつ「安心」という目には見えない気持ちをお届けするために、製造所との強固な連携体制を構築し、徹底した管理体制を敷いています。そして、製造される医薬品の先に、それを求め、必要とする患者さんやそのご家族がいることを社員一人ひとりが常に意識しています。

鳥居薬品は、患者さんに安心して使用いただける医薬品を提供するため、医薬品の製造所を定期的に訪問し、製造管理及び品質管理の状況を確認しています。

医薬品の製造所では、GMP^{*}に基づいた品質管理体制の下、工程ごとに品質を確認しながら、医薬品を製造し、決められた試験を実施し、合格したもののみを出荷しています。

また、製品の品質に関係する情報を各製造所と共有し、日々、工程改善、品質改善に取り組んでいます。

^{*} Good Manufacturing Practice: 医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準

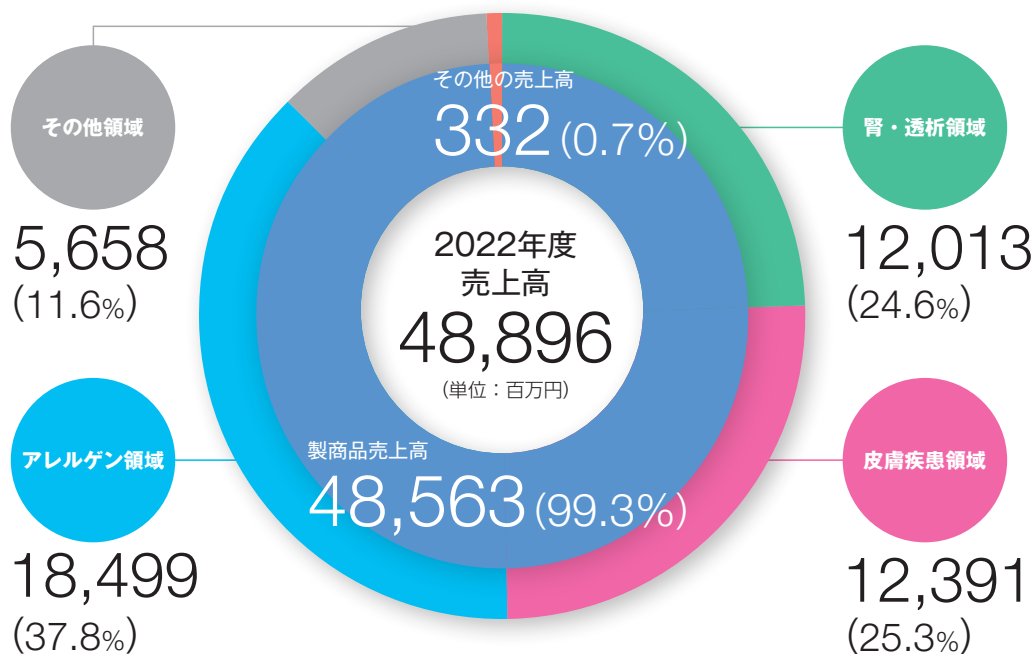
研究・開発活動

JTとの研究開発に係る機能分担において、新規化合物の研究開発機能はJTに集中しております。

JTでは「国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築」による「オリジナル新薬の開発」を目指し、研究開発力の充実・強化を図るべく、積極的に経営資源を投入しています。

6つの研究所からなるJT医薬総合研究所では、各研究所が有機的に連携を図りながら、重点研究開発領域(糖・脂質代謝、免疫・炎症、ウイルス)で新薬の研究開発を行っています。

領域別売上高



主要製品・商品

※自社品



リオナ錠

高リン血症治療剤／鉄欠乏性貧血治療剤

売上高



レミッチ

経口そう痒症改善剤

売上高



コレクチム軟膏

外用ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤

売上高



アンテベート*

外用副腎皮質ホルモン剤

売上高



シダキュア スギ花粉舌下錠*

スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬

売上高



ミティキュア ダニ舌下錠*

ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬

売上高

